

富車協ニュース（第11号）

H30. 10. 17

砺波支部北海道研修旅行 開催

事務局



砺波支部（吉本支部長）は10月13日（土）から15日（月）まで北海道研修旅行を開催しました。同じ降雪地域の事業者同士が修理技術や機械設備、集客方法などの情報交換を通じて事業経営に役立てることを目的としたものです。執行部から島田副理事長が参加しました。なお、写真は14日（日）の観光（羊が丘展望台 クラーク像）と15日（月）の工場見学（ホシボデー）のものです。

13日の札幌地方車体協青年部との交流では、北海道車体協の平塚理事長も参加され、テーブルディスカッションが行われました。テーマはこの度の震災の経験から「災害時になにが必要か？事前に何を準備すべきか」と「お客様に対し感動のサービスを提供しよう」の2つです。幅広い年齢層で初めは堅い雰囲気でしたが、すぐに打ち解け徐々に話し合いが進み、各テーブル素晴らしい発表でした。工場にあるバッテリージャンプ・スターターや燃料の提供ができること、1BOXの代車を避難所代わりとして使うことなど修理工場ならではの考えが述べられました。

15日の工場見学では、北海道ならではの仕事や台風の影響など滝川自工様、ホシボデー様から説明を受けました。

札幌車協青年部さんと砺波支部との交流でしたが、違う土地の同業者との交流はお互いに情報を共有したり仕事の面でもお互い助け合うきっかけにもなり、楽しく大変有意義なものでした。震災後にも関わらず、いろいろご尽力いただいた札幌車協青年部さんに感謝します。